

た か だ こ ら む

ハイウェイテクノフェア2024出展

当社は製鉄・化学・石油など様々な産業分野において、設備の設計から製作・建設・メンテナンスまで行っている。特に回転機械の状態監視においては、長年にわたって研究開発を重ね、電流情報量診断システム(T-MCMA®)を商品化し、お客様設備の緊急停止防止や延命化に努めてきた。

またインフラ設備への適用の事例も増えてきており、国土交通省の新技术情報提供システム (NETIS) ^{※1}や経済産業省推奨のスマート保安技術として「スマート保安技術カタログ」^{※2}へも技術登録されている。

ハイウェイテクノフェアには昨年より出展しており、T-MCMA®をトンネル内のジェットファンや排水ポンプといったインフラ設備に適用した事例について技術紹介を行っている。今回は昨年より規模を拡大して展示を行い、多くのお客様から抱えられている課題や要望を直接お聞きすることができ、大変貴重な機会となった。

1. 開催概要

- (1) 主催：公益財団法人 高速道路調査会
- (2) 共催：NEXCO東日本/NEXCO中日本/NEXCO西日本
- (3) 会期：2024年9月26日（木）～27日（金）10:00～17:00
- (4) 会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール、屋上展示場
- (5) 出展者数：337社
- (6) 開催概要：高速道路の建設・管理に関する技術の普及や活用を推進するとともに、高速道路事業について広くお客様や社会の理解を得ることを目的に開催。

2. 展示内容

展示ブース (B-019) は、3コマの大きさ(3×9m)で、高速道路内の様々な設備の状態を監視できることをイラストを交えて紹介。

ベルトの異常状態を再現したデモ機を用いて、実際にT-MCMA®で異常を検知する様子を展示。

3. 展示会場の様子

昨年よりも多くのお客様にご来場いただき、当社スタッフも精力的に営業活動を行った。



※1：民間企業等が開発した新技术の情報を共有・提供するための、国土交通省が運用するデータベース。

※2：製品評価技術基盤機構 (NITE) では、官民が連携して新技术やスマート保安モデルの情報共有を促進するため、電気設備の新たなスマート保安技術をまとめたものを「スマート保安技術カタログ」として公開している。

日笠 利信 (診断ソリューション部)